

JR東労組盛岡地本青年部 第34回定期委員会



スローガン

1. 新生JR東労組運動を一人ひとりが実践し、組織強化・拡大を実現しよう！
1. 「若手が将来に希望を持てる」施策を実現するための議論を創いだそう！
1. 過去の歴史を学び、いのちを守る取り組みを創いだそう！



(内田青年部長あいさつ)



(地本大村書記長あいさつ)



(武田本部青年部長あいさつ)

JR東労組盛岡地本青年部 第34回定期委員会 ~part2~



各委員の発言内容(要旨)

- ・JR東労組の必要性を訴えるため、マスク購入運動をつくりだし、困っている青年部員に渡した実践。
- ・ジョブローテーション施策に対する不安や不満、問題点などを共有し危機感を高めるために個別集会に取り組んだ実践。
- ・社員代表選の勝利に向けて青年部員、未加入者と関わりをつくりだした実践。
- ・転入・転出者、再加入・新規加入者の歓迎会を各支部と協力してつくりだし、組織のあたたかみを感じてもらえる実践。
- ・職場における業務問題や休業指示など会社からの施策に対して、青年部員や未加入者に寄り添い、向き合ってきた実践。

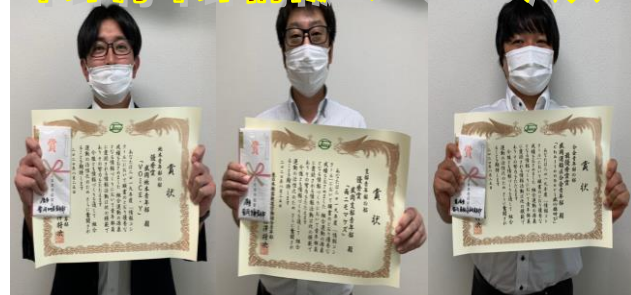
JR東労組盛岡地本青年部 第34回定期委員会 ~part3~

盛岡地本青年部 新役員名簿

- 青年部長 内田 涼 (盛岡運輸区)
- 副部長 小松 拓斗 (盛岡運輸区)
- 事務長 七ツ田 卓 (八戸運輸区)
- 常任委員 根城 翔平 (盛岡保線技術センター)
- 常任委員 山田 克義 (北上駅)
- 会計監査 細川 剛 (八戸運輸区)
- 会計監査 小玉 拓武 (盛岡運輸区)



本部青年部情報コンクール入賞!



9月6日、盛岡地本こぶし会館において第34回定期委員会を開催しました。今定期委員会は新型コロナウイルスの感染が不安視される中、マスクの着用やアルコール消毒液の設置、適宜喚起を行うなど万全な感染拡大防止対策を講じての開催となりました。委員会には地本より大村書記長、伊藤組織研修担当部長、本部青年部より武田青年部長合わせて3名の来賓に参加していただきました。また、12名の委員から発言をいただき委員会を盛り上げることでスローガンを含むすべての方針を満場一致で確立しました。

様々な発言にもありましたが、私たち青年部がおかれている現状を危機感として共有し「新生JR東労組運動」を推し進め、組織強化・拡大を創り出すこと、また一人一人が会社施策に向き合い、担っていくことを確認しました。これからも青年部らしく明るく元気に活発につながりを意識した運動をつくりだしていきます。これからも青年部員一人ひとりに寄り添ったあたたかみのある運動を継続してつくりだしていきましょう!

組織強化・拡大を盛岡の地から推し進めよう!

JR東労組盛岡地本青年部 第34回定期委員会 「委員会宣言」

委員会宣言 ~~(案)~~

私たちJR東労組盛岡地本青年部は9月6日、盛岡地本こぶし会館において「第34回定期委員会」を開催した。新型コロナウイルス感染対策のため、一部縮小しての開催となったが、青年部らしいあたたかみのある実践を堂々と発言することで、活気ある定期委員会をつくり出し、全青年部員で組織の未来を切り拓くための方針を満場一致で確認した。

4月から新たなジョブローテーション施策が始まった。蓋をあけてみると、諸会合で説明を受けた内容や私たちが思い描いていた施策とはかけ離れ、団体交渉の議論経過が形骸化される事象が起きている。

「社員一人ひとりが自らのキャリアプランを描き、チャレンジする事で多様な経験を積み成長する」目的に対し現実には、丁寧なコミュニケーションをとることもなく、モチベーションの向上にも繋がらず、納得感を得られるものになっていない。私たちは自らが描いたキャリアプランや希望を堂々と主張すると共に、あらゆる施策に対し、職場からのたたかいを基礎に検証運動をつくり出そう。

JR東日本会社が7月30日に発表した第1四半期単体決算は新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、営業利益、経常利益、四半期純利益、全てにおいて純損失を計上する極めて厳しいものとなった。また、このコロナ禍で取り組みにも大きく影響した1年であった。人との接触を避けなければならず、レクや集会の中止を余儀なくされ、何が最善なのか難しい判断を迫られた。しかし、『コロナだからできない』から『コロナでもできる』に転換させ、臨機応変にこの難局を乗り越えることで青年部員間での繋がりを深めてきた。これらの成果を教訓とし、さらに力強く組織強化・拡大の取り組みへと繋げていく。

JR東労組青年部は2年間、12地本青年部総団結方針を掲げ、18春闘大敗北総括を一致させるべく議論を重ねてきた。しかし、現実には目を背け続けた一部リーダーは嘘とごまかしで多くの仲間を引きずり回し、挙げ句の果てには、JR東労組からの脱退と分裂組織への加入を迫った。これらの行為は、無責任極まりないものであり、組織破壊以外の何物でもない。JR東労組盛岡地本青年部は苦しみながらもJR東労組に留まることを決意した東京・水戸・八王子・バスの仲間たちに寄り添い共に歩んでいく。

今こそ全支部青年部の力を結集し、離脱を余儀なくされた仲間へ寄り添い、自らの言葉で新生JR東労組の魅力を語り伝えなければならない。『休業指示に係る就業規則等の改正について』や『労働者代表制』の法制化など取り巻く情勢は厳しさを増しているが、JR東労組盛岡地本青年部は、いかなる状況においても現実を乗り越える気概を持ち、前を向き続ける。組織の存亡をかけ、あらゆる取り組みを組織強化・拡大につなげると共に、『新生JR東労組運動宣言』に基づいた青年部運動を推し進めていこうではないか。

以上宣言する。

2020年9月6日
東日本旅客鉄道労働組合
盛岡地方本部青年部
第34回定期委員会